

## 明和町の給与・定員管理等について

## 1 総括

## (1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (17年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 16年度の人件費率
17年度	23,080人	6,292,633千円	391,402千円	1,665,270千円	22.30%	23.20%

## (2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

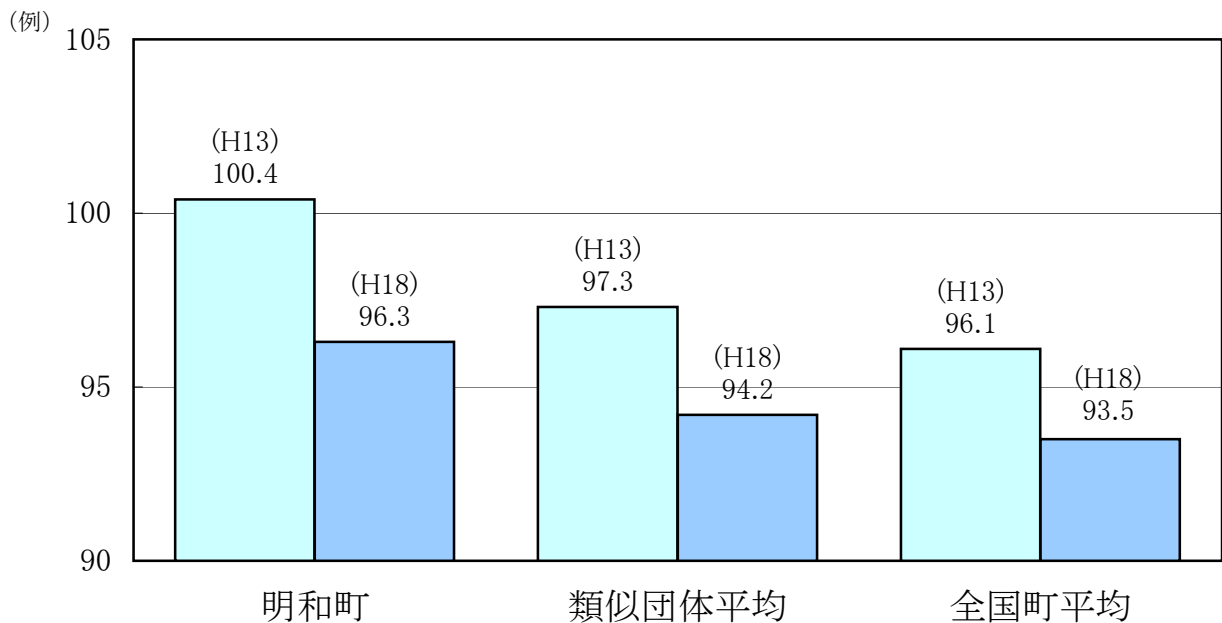
区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
17年度	196人	766,952千円	77,212千円	309,002千円	1,153,166千円	5,884千円	6,089千円

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。  
2 職員数は、17年4月1日現在の人数である。

## (3) 特記事項

特別職 平成18年度 町長10%、助役・収入役5%、教育長3%減額  
管理職手当 平成17年度から課長等17%減額

## (4) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数である。  
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

## 2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（18年4月1日現在）

#### ①一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
明和町	41.7 歳	331,698 円	345,042 円	345,042 円
三重県	42.1 歳	357,490 円	441,127 円	388,203 円
国	40.4 歳	328,477 円	—	381,212 円
類似団体	43.1 歳	335,657 円	388,967 円	368,293 円

※ 給料=本給のみ 給与=本給に諸手当を含む

#### ②技能労務職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
明和町	48.9 歳	305,500 円	316,308 円	316,308 円
うち学校給食員15人	50.2 歳	318,600 円	331,100 円	331,100 円
うち用務員5人	52.0 歳	310,500 円	317,000 円	317,000 円
うち他の技術労務員	42.3 歳	261,340 円	271,240 円	271,240 円
三重県	46.2 歳	347,260 円	392,466 円	366,792 円
国	48.4 歳	286,500 円	—	318,595 円
類似団体	49.1 歳	279,800 円	299,567 円	293,064 円
民間事業者平均	— 歳	—	— 円	—

### (2) 職員の初任給の状況（18年4月1日現在）

区 分	明和町	三重県	国	
一般行政職	大学卒	159,700 円	176,800 円	170,700 円
	高校卒	138,400 円	142,800 円	138,800 円
技能労務職	高校卒	138,400 円	142,800 円	—
	中学卒	— 円	— 円	—

### (3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（18年4月1日現在）

区 分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	
一般行政職	大学卒	268,500 円	317,466 円	384,666 円
	高校卒	— 円	— 円	— 円
技能労務職	高校卒	— 円	288,900 円	— 円
	中学卒	— 円	— 円	— 円

### 3 一般行政職の級別職員数等の状況

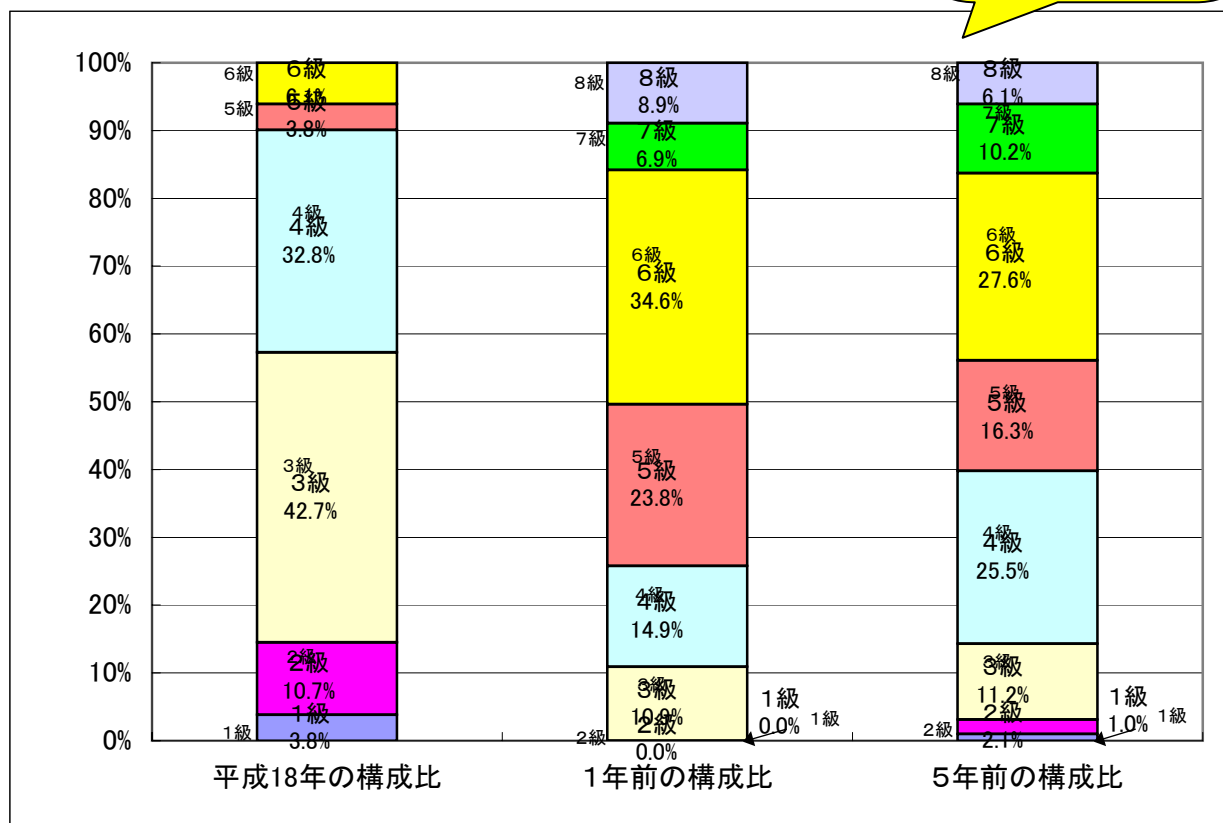
#### (1) 一般行政職の級別職員数の状況（18年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1 級	通常の業務を行う職務	5 人	3.80%
2 級	相当の知識又は経験を必要とする業務を行う職務	14 人	10.70%
3 級	係長、主査、主席保育士、主席教諭主任、主任保育士、主任教諭	56 人	42.70%
4 級	主幹、保育所園長、幼稚園園長	43 人	32.80%
5 級	課長、課長相当職	5 人	3.80%
6 級	課長、課長相当職	8 人	6.10%

(注) 1 明和町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。

注意: 級表示はエクセルが旧バージョンのため表示されないの、追加で貼り付けた。新バージョンでは表示される。



(注) 平成18年度に8級制から6級制に変更している。(旧給料表の1級及び2級並びに4級及び5級をそれぞれ統合)

## (2) 昇給期間短縮の状況

区 分		全 職 種
17年度	職 員 数 A	209人
	普通昇給期間(12~24月)を短縮して昇給した職員数 B	18人
	比 率 B/A	8.61%
16年度	職 員 数 A	207人
	普通昇給期間(12~24月)を短縮して昇給した職員数 B	28人
	比 率 B/A	13.53%

## 4 職員の手当の状況

### (1) 期末手当・勤勉手当

明和町	三重県	国
1人当たり平均支給額(17年度) 1,486 千円	1人当たり平均支給額(17年度) 1,837 千円	—
(17年度支給割合) 期末手当 3.0 月分 勤勉手当 1.45 月分 ( 1.6 )月分 ( 0.725 )月分	(17年度支給割合) 期末手当 3.0 月分 勤勉手当 1.45 月分 ( 1.6 )月分 ( 0.75 )月分	(17年度支給割合) 期末手当 3.0 月分 勤勉手当 1.45 月分 ( 1.6 )月分 ( 0.75 )月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

### (2) 退職手当 (18年4月1日現在)

明和町			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	21.00 月分	27.30 月分	勤続20年	23.50 月分	30.55 月分
勤続25年	33.75 月分	42.12 月分	勤続25年	33.50 月分	41.34 月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	47.50 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
その他の加算措置 (退職時特別昇給	なし )		その他の加算措置		
1人当たり平均支給額	165,344 千円				

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当(未実施)

(18年4月1日現在)

支給実績(17年度決算)			千円
支給職員1人当たり平均支給年額(17年度決算)			円
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%

(22年度の制度完成時)

支給対象地域	支給率	国の制度(支給率)
	%	%
	%	%
	%	%

(注) 国の制度では、平成22年度での完成を目指して、平成18年度から支給率を段階的に引き上げることとしている。

(4) 特殊勤務手当(18年4月1日現在)

支給実績(17年度決算)		0 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(17年度決算)		0 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(17年度)		0.0 %	
手当の種類(手当数)		2種類	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
防疫作業手当	伝染病防疫業務に従事する職員	伝染病防疫業務	日額400円以内
危険作業手当	災害応急対策業務等に従事する職員	災害応急対策業務	日額400円以内

(5) 時間外勤務手当

支給実績(16年度決算)	40,144 千円
職員1人当たり平均支給年額(16年度決算)	194 千円
支給実績(17年度決算)	34,893 千円
職員1人当たり平均支給年額(17年度決算)	168 千円

## (6) その他の手当（18年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (17年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (17年度決算)
扶養手当	配偶者 13,000円 その他 2人まで 6,000円 3人目から5,000円	同		17,205 千円	191,167 円
住居手当	(ア)月額23,000円以下の家賃を支払っている職員 家賃額-12,000円 (イ)月額23,000円を超え、55,000円未満の家賃を支払っている職員 (家賃-23,000円)×1/2+11,000円 (ウ)月額55,000円以上の家賃を支払っている職員 27,000円 上記の各1/2	異		3,423 千円	213,938 円
通勤手当	<交通機関利用> 運賃相当額×80%(支給限度額44,000円) <自家用車等利用> 片道5km以上対象。距離区分に応じて2,000円～23,600円	異		6,537 千円	89,548 円
管理職手当	課長=月額×10% 園長=月額×8%	異		12,372 千円	475,846 円

## 5 特別職の報酬等の状況（18年4月1日現在）

区 分		給 料	月 額	等
給 料	町 長	720,000 円	(参考)類似団体における最高/最低額	
	助 役	( 800,000 円 )	円/	円
	収 入 役	( 620,000 円 )	円/	円
		( 551,000 円 )	円/	円
報 酬	議 長	( 300,000 円 )	円/	円
	副 議 長	( 230,000 円 )	円/	円
	議 員	( 220,000 円 )	円/	円
		( 220,000 円 )	円/	円
期 末 手 当	町 助 収 入 役	(18年度支給割合) 4.45 月分		
	議 副 議 長 員	(18年度支給割合) 3.00 月分		
退 職 手 当	町 長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	助 役	給料月額(72万円)に支給率(1月につき41.6/100)を乗じて得た額	14,400,000円	任期毎又は退職時
	収 入 役	給料月額(58万9千円)に支給率(1月につき25/100)を乗じて得た額	7,068,000円	任期毎又は退職時
	備 考	給料月額(55万1千円)に支給率(1月につき22.5/100)を乗じて得た額	5,950,800円	任期毎又は退職時

- (注) 1 給料及び報酬の( )内は、減額措置を行う前の金額である。  
 2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

## 6 職員数の状況

### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

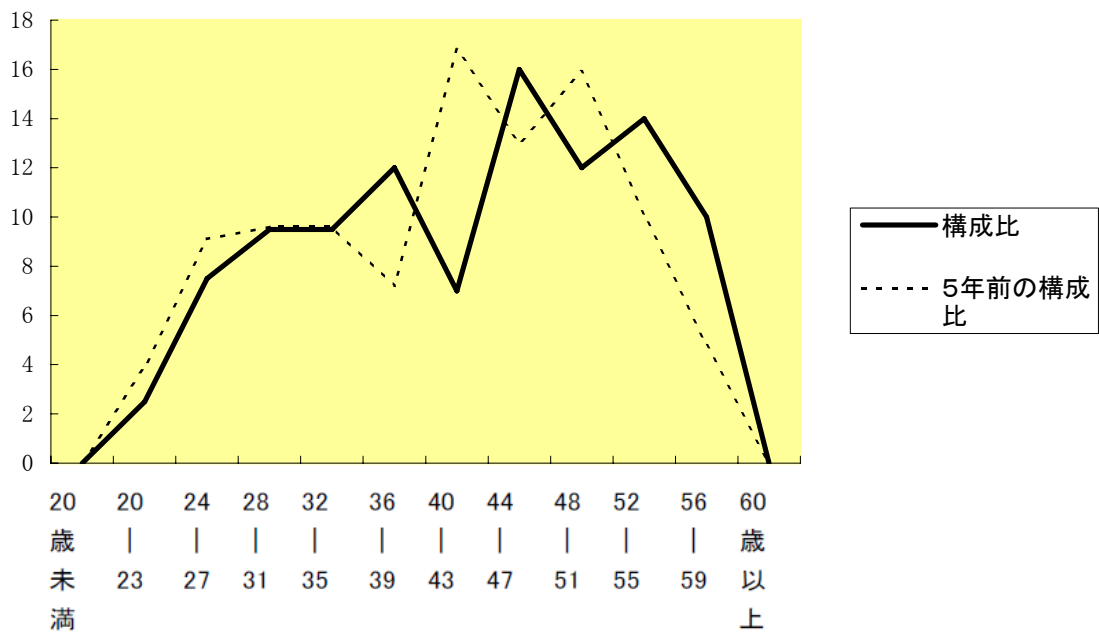
(各年4月1日現在)

区 分 部 門		職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由	
		平成17年	平成18年			
普通会計部門	一般行政部門	議会	3	3		事務の統廃合縮小による減
		総務	28	28		
		税務	13	12	△1	
		労働				
農林水産		11	10	△1		
商工		2	2			
土木		16	16			
民生		57	53	△4		
衛生	12	12				
計	142	136	△6	<参考> 人口1,000人当たり職員数 5.89 人 (類似団体の人口1,000人当たり職員数 6.63 人)		
	教育部門	56	53	△3	指定管理者制度導入、欠員不補充による減	
	小 計	198	189	△9	人口1,000人当たり職員数 8.14 人 (類似団体の人口1,000人当たり職員数 8.61 人)	
公営 企業計 等部門	水道	5	4		地域包括支援センター事業実施に伴う増	
	その他	6	7	1		
	小 計	11	12	1		
合 計		209	201	△8	<参考> 人口1,000人当たり職員数 8.67 人	

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。  
2 [ ]内は、条例定数の合計である。

### (2) 年齢別職員構成の状況 (18年4月1日現在)

(例) %





区 分	20歳 未満	20歳 ～ 23歳	24歳 ～ 27歳	28歳 ～ 31歳	32歳 ～ 35歳	36歳 ～ 39歳	40歳 ～ 43歳	44歳 ～ 47歳	48歳 ～ 51歳	52歳 ～ 55歳	56歳 ～ 59歳	60歳 以上	計
職員数	人 5	人 15	人 19	人 19	人 24	人 14	人 33	人 24	人 28	人 20	人 0	人 201	

### (3) 定員管理の数値目標及び進捗状況

#### ①平成17年4月1日～平成22年4月1日における定員管理の数値目標

平成17年4月1日 職員数	平成22年4月1日 職員数	純減数	純減率
人 209	人 198	人 11	% 5.3

#### ②定員管理の数値目標の年次別進捗状況（実績）の概要

（各年4月1日現在）

区 分		17年 計画始期	18年 1年目	19年 2年目	22年 5年目	17年～22年 計	(参考) 数値目標
一般行政	職員数	142	136			—	
	増 減		△6			( %)	
教 育	職員数	56	53			—	
	増 減		△3			( %)	
消 防	職員数					—	
	増 減					( %)	
公 営 企 業 等 会 計	職員数	11	12			—	
	増 減		1			( %)	
計	職員数	209	201			—	
	増 減		△8			-3.83%	-5.3%

- (注) 1 計画期間は、17年～22年の5年間である。  
2 ( %)内の数値は、数値目標に対する進捗率を示す。  
3 増減は、各年の欄にあっては対前年比の職員増減数を、計の欄にあっては計画1年目以降現年までの職員増減数の累計を示す。

## 7 公営企業職員の状況

### (1) 水道事業

#### ① 職員給与費の状況

ア 決算

区 分	総費用 A	純損益又は実 質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 16年度の総費用に占 める職員給与費比率
17年度	千円 358,237	千円 △1,161	千円 19,634	% 5.48	% 4.73

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
17年度	人 5	千円 17,372	千円 2,685	千円 7,311	千円 27,368	千円 6,842

市町村 一人当たり給与費
千円 6,971

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。  
2 職員数は、17年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項

なし

#### ② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況（18年4月1日現在）

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
明和町	45.5 歳	384,775 円	570,167 円
団体平均	— 歳	— 円	— 円
事業者	— 歳	— 円	— 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

#### ③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

明和町		明和町（一般行政職・団体平均等）	
1人当たり平均支給額(17年度)		1人当たり平均支給額(17年度)	
1,827 千円		1,486 千円	
(17年度支給割合)		(17年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
3 月分	1.45 月分	3 月分	1.45 月分
( 1.6 )月分	( 0.725 )月分	( 1.6 )月分	( 0.725 )月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置		職制上の段階、職務の級等による加算措置	

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（18年4月1日現在）

明和町			明和町（一般行政職・団体平均等）		
（支給率）	自己都合	勸奨・定年	（支給率）	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	21.00 月分	27.30 月分	勤続20年	21.00 月分	27.30 月分
勤続25年	33.75 月分	42.12 月分	勤続25年	33.75 月分	42.12 月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	47.50 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
（退職時特別昇給 なし ）			（退職時特別昇給 なし ）		
1人当たり平均支給額 千円 千円			1人当たり平均支給額 千円 165,344 千円		

（注）退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当（未実施）

（18年4月1日現在）

支給実績(17年度決算)		千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(17年度決算)		円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度(支給率)
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%

（22年度の制度完成時）

支給対象地域	支給率	一般行政職の制度(支給率)
	%	%
	%	%
	%	%
	%	%

（注）国の制度では、平成22年度での完成を目指して、平成18年度から支給率を段階的に引き上げることとしている。

エ 特殊勤務手当（18年4月1日現在）

支給実績(17年度決算)	0 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(17年度決算)	0 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(17年度)	0.0 %		
手当の種類(手当数)	2		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
防疫作業手当	伝染病防疫業務に従事する職員	伝染病防疫業務	日額400円以内
危険作業手当	災害応急対策業務等に従事する職員	災害応急対策業務	日額400円以内

オ 時間外勤務手当

支給実績（16年度決算）	1,542 千円
職員1人当たり平均支給年額（16年度決算）	386 千円
支給実績（17年度決算）	777 千円
職員1人当たり平均支給年額（17年度決算）	194 千円

（注）時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

カ その他の手当（18年4月1日現在）

手 当 名	内容及び支給単価	一般行政職 の制度との 異同	一般行政 職の制度と 異なる内容	支給実績 (17年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (17年度決算)
扶養手当				884 千円	221,000 円
住居手当				0 千円	0 円
通勤手当				72 千円	18,000 円
管理職手当				529 千円	529,000 円
休日勤務手当				0 千円	0 円
児童手当				420 千円	140,000 円

④定員管理の数値目標及び進捗状況

ア 平成17年4月1日～平成22年4月1日における定員管理の数値目標

平成17年4月1日 職員数	平成22年4月1日 職員数	純減数	純減率
— 人	— 人	— 人	— %

※定員管理は、企業会計単独では策定していません。

平成22年4月1日における定員の数値目標

計画期間		数 値 目 標
始 期	終 期	
—	—	—

※定員管理は、企業会計単独では策定していません。

イ 定員管理の数値目標の年次別進捗状況（実績）の概要

→6(3)②を参照